

令和 8 年
2月8日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙選挙公報

栃木県第 5 区

栃木県選挙管理委員会

栃木県民の声、暮らしの声こそが答えだ!

国民
民主党

比例代表は
「国民民主党」へ

寺田
たかふみ

こんな人です

(略歴)

東京都出身
東京都大田区立田園調布小学校・中学校を経て
1997年 3 月 慶應義塾高等学校卒業
2001年12月 慶應義塾大学文学部3年中退
現在、演出家、(株)エイトプロダクト代表取締役



日々の活動
を発信

めざすもの(政策)

① 経 済

- 社会保険料の負担を軽減し、現役世代に対して還付による減免を行う新たな制度を創設します。
- 年収の壁・178万円の壁に続き、所得制限自体を撤廃します。
- 自動車税減税、消費税5%減税に取り組みます。
- 積極財政、人への投資、賃上げ税制で内需を拡大します。

② 社会保障・雇用

- 年金の最低保障機能を強化し、誰もが老後に怯えることなく、安心して今を生きられる社会をつくります。
- 「人手不足対策特区」を創設し、製造業や農業、医療、福祉などの人手不足分野で、就職氷河期世代の経験と力を最大限に活かします。

③ 地域・地方創生

- 世代を超えて参加できるイベントを地域の祭りと連動させ、「孤独・分断」を解消し、地域コミュニティを再生します。
- 過疎地でのリモート診療推進や技術による生活インフラ維持を支援し、人口減少による現場の困りごとを、実務的に解決します。

④ エ ネ ル ギ ー

- 原子力発電所の稼働・リブレース・新增設や核融合等で安価で安定的な電力確保とエネルギー自給率50%を実現させ、高効率火力発電によるカーボン・ニュートラルを推進します。
- 再エネ賦課金の徴収を停止することで、即時の電気代値下げを実現し、家計と地元企業の負担を抜本的に軽減します。

⑤ 生活安全保障・国防

- 海外製アプリについて、安全保障と個人情報保護の観点から点検・審査する制度を整備します。
- 水、電気、ガス、道路、上下水道など、生活インフラの修繕・強化・防衛を着実に進めます。



国民民主党

寺田
たかふみ

昭和54年2月8日生(47歳)

▶昭和54年生まれ 47歳▶学生時代はバイオリン・空手に熱中▶バンド活動を経て演出家・プロデューサーとして様々な新しいカルチャーの立ち上げに深く関わる ニコニコ超会議／超パーティー／U-FES など▶栃木5区から日本を明るくしていきます!

自民党政治と暮らし平和人権国民のために 対決し暮らし平和人権ブレずにはたります

物価高には手を打たず、アメリカいいなりに大軍拡、裏金や統一協会の疑惑、憲法9条をこわして戦争する国へ——こんな高市自・維政権にキツパリ対決します。ごいっしょに政治を変えましょう。よろしくお願いします。

「人間の自由」が花ひらく 日本共産党
未来社会をめざす

長時間労働や格差の拡大、気候危機——もうけ最優先の資本主義が生む矛盾に、「このままでいいのか」という問いかけが世界で広がっています。私たちは、搾取をなくし労働時間を短くすることで、誰もが「自由な時間」を持ち、可能性を伸ばせる社会をめざしています。



大企業・大株主への「富の集中」ただし
くらし応援にチェンジ

物価高超高賃上げ▶中小企業を直接支援、最賃時給1700円をめざします

1日7時間労働▶賃上げとセットで「自由な時間」を増やします

消費税5%減税▶廃止をめざして緊急減税、インボイスは廃止します

医療・介護の充実▶「4兆円の医療費削減」は中止、予算を増やします

学費値上げストップ▶教育予算を増やし半額、無償をめざします

財源は▶大企業・富裕層に応分の負担を求める税制改革、軍事費・大企業補助金の削減などの歳出改革で

「力の支配」トランプ政権いいなりやめ
平和の外交にチェンジ
くらし壊す大軍拡は中止に

▶「5年で43兆円」―「亡国の道」、軍事費大增額に反対します

日中関係打開へ対話の外交を

▶「互いに脅威とならない」と確認した日中首脳合意(2008年)にもとづく行動を両国政府に求めています

人権を尊重する政治に

▶ジェンダー平等をすすめます。差別を許しません

政治の闇と腐敗をただす

▶統一協会と自民党との黒い癒着の全貌解明を求めます
▶政党助成金の廃止、企業・団体献金を全面禁止します

岡村けい子略歴▶県立保育専門学院卒。●佐野市議(6期22年)
●現在、党県常任委員、南部地区委員長。



日本共産党

岡村
けい子

おかむら

1953年8月27日生(72歳)

希望ある政治へ、比例は日本共産党とお書きください。

投票期間

1月28日(水)～2月8日(日)

衆議院議員総選挙
最高裁判所裁判官国民審査

【期日前投票:1月28日(水)～2月7日(土)、当日投票:2月8日(日)】

●投票所や投票時間に関しては投票所入場券をご確認いただくか、各市町の選挙管理委員会へお尋ねください。

令和 8 年
2月8日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙選挙公報

栃木県第 5 区

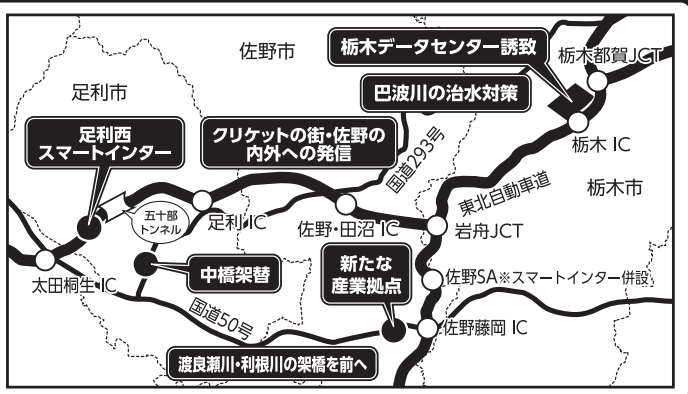
栃木県選挙管理委員会

外務大臣として、厳しさを増す国際情勢の中、国益を守り、日本の存在感を高める積極的な外交を展開します。政府や党での幅広い経験と実績を活かし、大胆な物価高対策・日本経済の再生と地方活性化を推進します。

- 1 大胆な物価高対策を実行し、物価を上回る賃上げを実現します。**
- 2 地方への積極的な投資を促し、地方から日本の成長を引き出します。**
- 3 AI・半導体などの重点分野・成長分野への投資と、多様な人材の活躍促進を図ります。**
- 4 国益を守り、国際社会でより存在感を高める日本ならではの外交、すなわち「力強く、視野の広い外交」を展開していきます。**

生まれ育って良かった地方、住んでみたい街づくり

- 長年の懸案だった中橋の架替が、いよいよ2年後に完成予定で、待望の足利西スマートインターも2年後に完成します。
- 佐野市では国の制度を活用した新たな産業拠点を整備。日本で唯一となる国際規格のクリケット場を活用し、佐野市の魅力を国内外へ発信していきます。
- 栃木インター産業団地にデータセンターを誘致出来ました。巴波川の治水対策も着実に進めていきます。



日本のリーダーへ

自民党公認

比例代表も自民党へ

略 歴
・1955年10月7日
栃木県足利市生まれ
・東京大学卒業、
米国ハーバード大学大学院修了
・丸紅株式会社、マッキンゼー社

国会議員歴（一部抜粋）
・1993年 第40回衆院選に初立候補しトップ当選
・2003年 国務大臣（沖縄・北方、科学技術、IT担当）
・2009年 自民党栃木県連会長
・2012年 経済産業大臣
・2016年 自民党政務調査会長
・2017年 経済再生担当大臣（TPP、日米貿易交渉などを妥結へ）
・2019年 外務大臣
・2021年 自民党幹事長
・2025年 外務大臣（2回目）



自民党

もてぎ
茂木としみつ

昭和三十年十月七日生（七十歳）

I am
JAPAN

ひとりひとりが日本

“3つの柱と9の政策”

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷。苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験戦争にもがき苦しみ、家族観や結婚観という日本人らしいアイデンティティーは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せるのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。日本はまだ間に合う。

1 日本人を豊かにする

の柱
～経済・産業・移民～

- “集めて配る”より、まず **減税****
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。
- 日本はまだ間に合う“**NO! 移民国家**”**
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。
- 現場の人**が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

2 日本人を守り抜く

の柱
～食と健康・一次産業・エネルギー～

- 食は人の天なり**
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。
- エネルギーと資源確保が **生命線****
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。
- 安心医療で **健康国家****
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3 日本人を育む

の柱
～教育・人づくり・国家観～

- 子ども一人につき **月10万円****
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。
- 受験戦争からの解放**
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。
- 日本はみんなの家**
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は 参政党 とお書きください。

参政党の政策は▶
こちらの特設サイトから！



宮本陽介 プロフィール 明治学院大学経済学部卒業。妻と娘との3人家族。子供たちの未来を良くしたい想いから、利権や保身で変わらない時代遅れの政治を変えるため、「投票したい政党がないから自分たちでゼロからつくる」がスローガンの「参政党」から立候補。

昭和62年4月30日生（38歳）

参政党
宮本陽介



未来をつくる
あなたの一票大切に



明るい選挙キャラクター 選挙のめいすいくん

投票期間

1月28日(水)～2月8日(日)

**衆議院議員総選挙
最高裁判所裁判官国民審査**

期日前投票:1月28日(水)～2月7日(土)

当日投票:2月8日(日)